

山の日情報

(第 4 号)

平成 28 年 7 月 21 日

秋 田 県 生 活 環 境 部
自 然 保 護 課

【活動記録】

「山の日」制定記念事業の第 2 弾。7 月 9 日(土)に八峰町八森地区で行われた海岸クリーンアップは、毎年海開きを前に各町内単位で一斉に行われており、今回は花火大会も開催される「雄島」の中浜海岸に事務局(自然保護課)は参加しました。

当日は開始前からあいにくの雨にもかかわらず、町民約 30 名が集まり、一緒に作業を行いました。海岸へ漂着したゴミは細くなったプラスチックや発泡スチロール等が多く、集める作業も一苦労でした。

この海に注ぐ川をさかのぼると、ニツ森を始めとする白神山地世界遺産地域があります。‘森は海の恋人’とも言われます。海岸クリーンアップを通して、山の恩恵に感謝しました。



(関係者の感想)

毎年実施されている八峰町八森地区の海岸クリーンアップは、今年度「山の日」制定記念事業として、初めて秋田県とタイアップし、八峰白神ジオパークのジオサイトのひとつでもある「中浜海岸ブラックサンドビーチ」の清掃活動を実施しました。

当日はあいにくの天候となってしまいましたが、参加者の皆様とともに海岸の清掃活動を通して、山の恩恵に感謝するとともに、身近にある八峰白神ジオパークのジオサイトを理解していただいたと感じております。

また、秋田県より配付された記念バッジも好評で、皆様から大変喜んでいただきました。参加者や関係各所の皆様のおかげで無事に終えることができ、感謝しております。ありがとうございました。(八峰白神ジオパーク推進協議会会長 辻 正英)

(事務局からのお知らせ)

- ・「山の日」制定記念事業の啓発資料としてチラシを作成しています。
作成にあたっては、ブラウブリッツ秋田にご協力をいただいております。「トレッキング」を趣味としている「伊東輝悦選手」のインタビュー記事を掲載しています。
- ・伊東選手は「マイアミの奇跡」を起こした静岡県出身のサッカー選手。非常に興味深い記事の内容になっています。伊東選手とブラウブリッツ秋田には厚くお礼申し上げます。
- ・なお、チラシは7月16日(土)と7月31日(日)にあきぎんスタジアムで開催されるホームゲームにて、来場者に配付される予定です。

【特別寄稿】

森の白神、水の白神

後藤 千春

今年も夏が来る。青い空に白い雲。両側がスッパリと切れ落ちた稜線に、際どいバランスで足を置き、乾いた岩に手をかけて3,000mの頂を目指す北アルプスのクライミング。年に数度のそんな緊張感も楽しいが、白神の森へ帰ってくると、深い森に包まれて身体も心も癒され、まったくもって寿命が延びるような気がする。

原色の風景が織りなす北国の短い夏は、動物も植物も喜びに満ちている。そして人も、長かった冬の鬱憤を晴らすかのように夏祭りが炸裂する。

連綿と繰り返されてきた生命の歴史と、森の恩恵を受けて育まれてきた文化。人の暮らしはめまぐるしく変化しても、自然界の歴史は極めてゆっくりと動いている。

白神の森に蓄えられ、生み出される清冽な水。森に、里に、流れ込む海にも恵みを与え、天に昇って雲となり、風に乗ってまた山に雨を降らせる。大いなる水循環の中で物理的・時間的一瞬を生きる者に、縄文の昔からこの先未来永劫、白神の森は命の躍動と安らぎを与えてくれるのだ。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」山の日、広義に捉えて白神全域に思いを馳せてみるのもいいかもしれない。

～後藤千春さんの紹介～

(一社)秋田白神コミュニケーションセンター代表理事。東京都出身。団体職員として長い単身赴任生活を送っていたが、「家族で自然な生活を」と妻の実家がある能代市に移住しプロの登山ガイドとして起業。現在は白神山地を拠点として、県内外の山で多数のガイド依頼を受ける。白神山地の保全管理にも携わり、白神ガイドの人材育成にも尽力している。(公社)日本山岳ガイド協会試験研修委員・登山ガイド。

